

巻頭言

「祈ること」

関口 華子

新入園の子どもたちとの最初の礼拝では、毎年「神さま」や「祈り」についてお話をします。お祈りは神さまとお話することです。『天の神さま』と語りかけ、最後は『イエスさまのお名前を通して神さまにお捧げします。』と結びます。私たちの祈りはイエスさまを通して神さまに届けられます。

数年前に二葉幼稚園を卒園した姪が、先日「最近忘れ物が多いから、毎晩寝る前に神さまにお祈りすることにしたんだ。」と話していたので、幼稚園から離れても祈ることを忘れていなかったことを嬉しく思っていたのですが、数日後、「毎日神さまに忘れ物をしないようにお祈りしているのに、忘れ物はなくなるし、ついてないことばかりだから、もう神さまを信じない！」と言いついにしました。彼女にとっての祈りは自分の欲望を満たす為の願い事を叶えてくれるものになってしまっていたのでしょうか。確かに私たちは祈りの中で多くの願いを神さまに訴えています。「願いを聞き入れて下さい」と。悩んでいるときや苦しい時、自分自身の力ではどうにもならない時、神さまに語り掛ける(祈る)と心の平安が与えられます。しかし願いを言葉にして神さまに祈っていると、いつもいつも自分で自分の道を決めているのではなく、神さまによって道が備えられているのだなと感じることがたくさんあります。そんな時私は、「どんなことが起こっても、あなたの御心にかなうものとなりますように。」と祈ります。神さまは私に必要な時、必要なものを与えて下さるのだと思ひ返します。

そして、他者の為に祈る「とりなしの祈り」も大切であると思います。今大切な友人が闘病生活を送っているのですが、私にはその病気を治してあげることができないけれども、「この辛い治療を乗り越え、どうか元の生活に戻ることが出来ますように。病で弱った友人の心を支えて下さい。」と祈らずにはいられません。

多くの子どもたちはこの二葉幼稚園で初めて「祈る」ということを知ったことでしょう。また普段から祈ることを日常としていた子どもも自分の言葉で祈ることができるようになってきたかもしれません。当たり前毎日が送れていることに感謝し、今日も一日笑顔で過ごすことができるように願い、自分以外の方々に想いを馳せる。祈りを持って一日を始め、一日を終わることができることに感謝するものです。

最後に、「フランシスコの平和を求める祈り」として有名な、私が好きな祈りをご紹介します。

平和を求める祈り

わたしをあなたの平和の道具として
 お使いください
 憎しみのあるところに 愛を
 いさかひのあるところに ゆるしを
 分裂のあるところに 一致を
 疑惑のあるところに 信仰を
 誤っているところに 真理を
 絶望のあるところに 希望を
 闇に光を 悲しみのあるところに
 よろこびをもたらすものと
 しててください

慰められるよりは 慰めることを
 理解されるよりは 理解することを
 愛されるよりは 愛することを
 わたしが求めますように

わたしたちは与えられるから受け
 ゆるすからゆるされ 自分を捨てて死に
 永遠の命をいただくのですから



お誕生日 おめでとう!!

6さいになりました！
5さいになりました！



年長 ゆり組 (ブルーバッチ)

ピンクバッチの頃から育ててきたカブトムシの幼虫がもうすぐさなぎになることに気付いた子どもたちは、登園すると「もうすぐでさなぎになるね」「動かさないでそっとしておこう！」と話していました。また、先日年長のみんなで苗を買いに行き、畑に植えた枝豆に水をあげることを毎日楽しみにし、世話をする楽しさを感じています。

今月は花の日訪問の他、お泊まり保育、田植え体験など、ゆり組だからこそ出来る特別な行事がたくさんあります。歌を歌ったり、行事について話し合ったりしながら気持ちを高めていきたいと思ひます。そして、幼稚園を一步飛び出して出来る社会体験を友だちと一緒に頑張れる！友だちと一緒に楽しい！と感じて欲しいと思ひます。

<6月のクラス目標>

- * 自然に目を向け、神さまの働きを感じる。
- * お泊まり保育や様々な行事を通して、みんなで協力し合う楽しさを感じる。
- * 友だちと寄り添い合い、助け合う喜びを知る。

年中 きく組 (ピンクバッチ)

毎日を共に過ごしていく中で少しずつ距離を縮めてきた子どもたちは、今では「今日一緒に遊べる？」「お隣座ろう。」と互いに声を掛け合うほど仲良くなってきました。忘れ物を届けた時には、赤バッチの時には「自分でやりたいの！」と言っていたものですが、今では「ありがとう。」とその親切さ、優しい気持ちを受け止める事が出来るようになってきました。一方で、自分の言い方や言葉で友だちを傷つけてしまう事もあります。どんな言い方が友だちの心に届くのか、どんな言葉を友だちが喜んでくれるのか、場面場面で丁寧に相手の気持ちを伝え、一緒に考えていきたいと思ひます。

また、花の日訪問では警察署へお花を届けます。いつも私たちの生活を守って下さる地域の方々に感謝の気持ちを届けたいと思ひます。

<6月のクラス目標>

- * 日頃、私たちを助けてくれる人が与えられていることに感謝をする。
- * 相手の心に届く言葉や言い方を実践を通して学んでいく。
- * 友だちと積極的に関わり、一緒に遊ぶことの楽しさを感じる。

年少 つぼみ組 (あかバッチ)

朝の登園時には、「先生〇〇君は(来ている)？」と友だちを探したり、遊びの中でお友だちに「一緒に遊ぼう！」と声を掛けたり、お弁当の時にも「一緒に座ろう」と言っていたり、食べている時に「Aくんおいしいね」と楽しそうにお話をしている姿をみて友だちとの仲が深まってきていると感じます。

今月は花の日礼拝・訪問を予定しています。花の日礼拝にはたくさんのお客様がいらっしゃいます。少しドキドキするかもしれませんが、お客様と一緒にたくさんのお花を囲んでの礼拝はきっと特別に嬉しいものとなることでしょう。また翌日の訪問では給食を作ってくださいしている『ごちそうさま』や園長先生、粕谷さん、長谷川さんにお花を届けます。つぼみの子どもたちにとって身近な方々へ「ありがとう」の気持ちを伝えたいと思ひます。

<6月のクラス目標>

- * 神さまのことを好きになる。
- * 家族以外の身近な方々に感謝の気持ちをもつ。
- * 梅雨の季節に見つけられる自然の変化に興味をもつ。